

オーケストラ・コンサート情報満載!

# 38 ORCHESTRAS

日本オーケストラ連盟ニュース  
加盟オーケストラ コンサート情報 2022年8月~11月  
~コンサート津々浦々~



Vol.108  
2022年8~11月

## 文化庁「アートキャラバン事業」を 通して見えたもの



### Contents

文化庁「アートキャラバン事業」を通して見えたもの	2
オーケストラの日 15周年を迎えて	4
映像収録・配信のゆくえ	6
<b>【新聞記者の目】</b>	
灯を消さないーコロナ禍で迎えた「広響プロ化50年」	7
News & Topics	8
リレーエッセイ	9
コンサート津々浦々	10
インフォメーション	20

Asia **Orchestra** Week 2022  
アジア オーケストラ ウィーク

10月5日(水)~7日(金)  
各日19時開演  
東京オペラシティコンサートホール

# 文化庁「アートキャラバン事業」

コロナ禍において、国は多くの支援策を芸術団体にも打ち出してきた。その中の一つに「アートキャラバン事業」がある。この事業によって、多くの国民は失われていた鑑賞機会を得ることが出来、また多くの芸術団体が厳しい財政状況の中、収入を得ることが出来た。この事業を実施する中で、改めて今日のややゆがんだ舞台芸術の鑑賞機会について気付くことになった。

## 1. オーケストラ鑑賞機会の地域的なアンバランス

毎年発行されている「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑」の中にある〈都道府県別演奏回数〉を見ると以下のことがわかる。東京を中心とする首都圏、大阪を中心とする近畿圏、名古屋を中心とする中京圏では全体からみれば著しく公演回数が多い。このほかにもオーケストラが存在する都市（多くは政令指定都市を含む県庁所在地）でも多くの演奏会が開かれていることが分かる。人口一人当たりという基準で考えることが、平等を単純に数値化する時には正しいように思えるが、果たしてそれだけで良いのか。オーケストラのみならず、芸術文化の鑑賞機会が大都市に集中していることは正しいあるべき姿なのか。そうではない。地域ごとに適切な芸術文化の鑑賞機会は維持されてしかるべきと考える。今回改めてこのことを実感することとなった。

## 2. 地方に存在する素晴らしいホールの数々

全国公立文化施設協会によれば全国には2000以上の公立文化施設（劇場・ホールなど）が存在する。当然これらは芸術文化の鑑賞の

場としてのみでなく、その他多くの集いも含め地域の市民たちが集う場として、必要なインフラとして地域社会に整備されてきた。整備という行為自体にも多くの経済効果があるため、1980年以降、多くの立派な施設が建設されてきている。

しかしながらホールというものは建設したらそれで終わりというわけではなく、それを維持していくために多大の施設管理費用を要する。（大規模修繕となると数十億円の費用が必要となる）ここで忘れてはならないのは、建設後に必要な資金としてホールで行われるソフト、つまり市民に届ける芸術文化公演などの費用が必要であるという事。バブル景気の時代は潤沢にあったかと思われるこの予算も、地方の景気の流れと共に少なくなってきており、結果として地方の多くの都市では、ある程度予算が必要となるオーケストラによる公演などは気づかないうちに減少してきた。鑑賞するには十分な立派なホールがあるにもかかわらずである。

## 3. 地元のプロデューサー、制作スタッフ育成の必要性

これらの問題を解決するのに必要なのは当然資金である。しかしながら、急激に増加することが見込めない今、限られた予算をどのように有効に活用することが出来るか。大都市圏から芸術団体を招くにあたり最も負担の大きい旅費交通費を節約できるか、これには周辺自治体施設との協力はできないか、芸術団体と綿密なコミュニケーションを維持することで軽減できるものはないか、国に対して現在の助成制度を柔軟な汎用性の持てるものにできないか、などなどを工夫することを前向きに考え

る、地域のプロデューサーや制作スタッフの育成が、芸術団体スタッフの育成とともに急務であると考えられる。現在実際にホールを運営するにあたり、多くのホールでとられている指定管理者制度を、国の理解も得ながら中長期にも対応できる方向にして行く必要がある。

## 4. 継続した事業の必要性

市民の皆さんに文化芸術を楽しんでいただくには環境を整え、お客様を育成していく必要がある。何年も鑑賞機会のない皆さんが突然、公演があっても市民ホールへ行くという行為がある程度習慣になっていなければ、集客は困難な場合が多い。これも今回の事業で実感したところ。質の高い実演芸術をある程度定期的に届けることが必要である。一方、集まったお客様が芸術団体を育てることになる、この循環が両者にとって必要不可欠となる。

## 5. 地元芸術団体との協力と共存

国際的にも、国内的にも地域間の文化交流は大切なことである。一方、地域の文化を育てるにあたっては、地域の文化芸術団体と協力し地域文化を育てていくことがこれからは重要と考える。日本人の奥ゆかしさか、謙虚さか、地元のものに自慢しないで、外からの物、大都市からの物、海外からのものをありがたがる傾向に私たちは無いだろうか。これからは日本の、そして地域の芸術団体と地域がどう協力して、取り組んでいくかを考えていく必要は無いだろうか。もちろんそれには芸術団体は質が高く、地域に望まれるものを用意しなければならない。

コロナ禍にあつて、国・自治体・企業・多くの市民の皆さんから物心にわたる温かい応援を頂いた。私たち芸術文化団体は、改めて自身が目指す芸術文化活動は何なのか。税金の利用も含め多くの支援を頂いた市民、民間企業の皆さんが私たちに期待に応えるということはどうなるのか。私たちはそれらを改めて考え、次の時代に進まなければならない。

（日本オーケストラ連盟 桑原 浩）



2021年春にオープンした『マルホンまきあーとテラス（宮城県石巻市）』

# を通して見えたもの

## 2021年度の公演(全47公演)

※1 東京オペラシティにて「オーケストラ・キャラバンTOKYO」として開催 ※2 3公演のセット券販売を実施  
 ※3 PAC オーケストラ = 兵庫芸術文化センター管弦楽団

北海道・東北(北)	北上市(岩手県) 函館市(北海道) むつ市(青森県)	8月15日(日) 9月20日(月・祝) 10月10日(日)	東京交響楽団 仙台フィル 仙台フィル	中京	浜松市(静岡県) 津市(三重県) 東海市(愛知県) 東海市(愛知県)	8月11日(水・祝) 9月4日(土) 9月20日(月・祝) 12月23日(木)	セントラル愛知響 日本センチュリー響 新日本フィル 大阪フィル
東北(中)	金石市(岩手県) 秋田市(秋田県) 大館市(秋田県) 鹿角市(秋田県)	8月4日(水) 8月26日(木) 10月10日(日) 1月20日(木)	山形交響楽団 仙台フィル 東京シティ・フィル 山形交響楽団	京阪(東)	豊中市(大阪府) 京都市(京都府) 豊中市(大阪府)	9月16日(木) 10月31日(日) 11月17日(火)	東京ニューシティ 大阪フィル 東京フィル
東北(南)	一関市(岩手県) 山形市(山形県) いわき市(福島県)	8月3日(火) 8月8日(日) 12月23日(木)	山形交響楽団 広島交響楽団 山形交響楽団	京阪(西)	丹波市(兵庫県) 門真市(大阪府) 西宮市(兵庫県)	11月13日(土) 12月8日(水) 12月21日(土)	関西フィル 関西フィル 九州交響楽団
東京	新宿区(東京都)※1 新宿区(東京都)※1 新宿区(東京都)※1 新宿区(東京都)※1	8月17日(火) 8月18日(水) 8月19日(木) 8月20日(金)	日本センチュリー響 仙台フィル 大阪交響楽団 名古屋フィル	中国・山陰	岡山市(岡山県) 津山市(岡山県) 日南市(宮崎県) 安来市(島根県)	9月13日(月) 9月24日(金) 9月25日(土) 12月11日(土)	東京都交響楽団 アンサンブル金沢 アンサンブル金沢 大阪交響楽団
上信越	新潟市(新潟県) 高崎市(群馬県) 新潟市(新潟県)	12月24日(金) 1月13日(木) 1月29日(土)	パシフィックフィル 大阪フィル 九州交響楽団	山陽	福山市(広島県) 廿日市市(広島県) 三原市(広島県)	11月13日(土) 12月12日(日) 1月30日(日)	新日本フィル PACオーケストラ※3 アンサンブル金沢
信越	軽井沢町(長野県) 上田市(長野県)	10月30日(土) 10月30日(土)	東京フィル 広島交響楽団	四国(東)	徳島市(徳島県) 高松市(香川県) 高松市(香川県)	7月24日(土) 10月10日(日) 12月23日(木)	神奈川フィル 神奈川フィル 東京シティ・フィル
長野	長野市(長野県) 長野市(長野県)	12月6日(月) 1月16日(日)	読売日本交響楽団 東京フィル	四国(西)	高知市(高知県) 西条市(愛媛県)	9月14日(火) 9月18日(土)	東京都交響楽団 神奈川フィル
石川・富山	入善町(富山県) 金沢市(石川県)※2 金沢市(石川県)※2 金沢市(石川県)※2	7月27日(火) 8月20日(金) 8月23日(月) 8月24日(火)	アンサンブル金沢 大阪交響楽団 セントラル愛知響 日本フィル				

## 2022年度の公演予定(全43公演)

北海道・秋田	苫小牧市(北海道) 小樽市(北海道) 北見市(北海道) 能代市(秋田県)	7月24日(日) 7月25日(月) 7月27日(水) 9月4日(日)	アンサンブル金沢 アンサンブル金沢 アンサンブル金沢 山形交響楽団	中京	名古屋市(愛知県) 高山市(岐阜県) 岐阜市(岐阜県)	7月29日(金) 10月15日(日) 11月8日(火)	大阪交響楽団 セントラル愛知響 東京交響楽団
東北(北)	盛岡市(岩手県) 大船渡市(岩手県) 気仙沼市(岩手県) 宮古市(岩手県)	9月1日(木) 9月3日(土) 10月19日(水) 10月12日(水)	仙台フィル 仙台フィル 東京シティ・フィル 日本フィル	福井・京都	福井市(福井県) 宇治市(京都府) 福井市(福井県)	12月4日(日) 1月12日(木) 1月22日(日)	関西フィル 大阪フィル 読売日本交響楽団
東北(南)	石巻市(宮城県) 南会津町(福島県) 石巻市(宮城県)	10月9日(日) 10月30日(日) 1月19日(木)	読売日本交響楽団 山形交響楽団 山形交響楽団	関西	東大阪市(大阪府) 東大阪市(大阪府) 門真市(大阪府)	7月28日(木) 8月27日(土) 1月15日(日)	大阪交響楽団 東京シティ・フィル 関西フィル
関東(東)	日立市(茨城県) 千葉市(千葉県) 東金市(千葉県) 水戸市(茨城県) つくば市(茨城県)	7月28日(木) 9月26日(月) 11月23日(水・祝) 11月29日(火) 1月6日(金)	群馬交響楽団 新日本フィル パシフィックフィル 東京交響楽団 新日本フィル	山陽・山陰	岡山市(岡山県) 鳥取市(鳥取県) 倉敷市(岡山県)	6月17日(金) 7月2日(土) 8月28日(日)	九州交響楽団 大阪フィル 東京都交響楽団
四国(東)	高知市(高知県) 美馬市(美馬市) 観音寺市(香川県)	8月29日(月) 9月3日(土) 10月29日(土)	東京都交響楽団 広島交響楽団 名古屋フィル	四国(西)・山口	土佐市(高知県) 松山市(愛媛県) 山口市(山口県)	9月4日(日) 11月9日(水) 11月10日(木)	パシフィックフィル 日本センチュリー響 日本センチュリー響
神奈川・甲信越	甲府市(山梨県) 清水市(静岡県) 伊那市(長野県) 横浜市(神奈川県)	8月9日(火) 8月24日(水) 8月28日(日) 11月20日(日)	神奈川フィル 神奈川フィル 東京シティ・フィル 新日本フィル	福岡・沖縄	那覇市(沖縄県) 久留米市(福岡県)	5月11日(水) 1月7日(土)	読売日本交響楽団 PACオーケストラ※3
北陸	金沢市(石川県) 飛騨市(岐阜県) 氷見市(富山県)	6月20日(月) 7月18日(月・祝) 1月9日(月・祝)	九州交響楽団 東京フィル 東京フィル				



オーケストラ・キャラバン日本全国43公演♪  
 ～オーケストラと心に響くひとときを～  
<https://www.orchestra.or.jp/caravan2022/>

文化庁 大規模かつ質の高い  
 文化芸術活動を核とした  
 アートキャラバン事業



# オーケストラの日 15周年を迎えて

「3月31日はオーケストラの日♪」

「3」は耳のカチによく似た数字。ひとりでも多くの方にオーケストラに親しんで頂こうと3月31日を「ミミにイチバン」オーケストラの日として2007年より日本各地で展開し15年が経ちました。これからもオーケストラを体感して頂く一つの切っ掛けになれますように、いろいろな「オーケストラの日」をお届けして参ります。

第一回

2007年



初めてのオーケストラの日  
オーケストラにとっても様々な挑戦への切っ掛けでした

2008年



首都圏合同イベントを開始  
演奏会以外にも楽器体験、バックステージツアー、リハーサルの見学など多彩なイベントに

2022年



## 山形交響楽団

事業局長兼企画営業部長 後藤純悦

山響をもっと身近に感じてほしいと願って「オーケストラの日」を行ってまいりました。普段入事の出来ないステージ裏や楽屋のバックステージツアー、楽団員と直接触れ合うことができる楽器体験、コンサートの中で指揮者体験等を毎年行っております。

地域に根差した活動にはこの事業は欠かせないと思いますし、少しでも多くの方々がこれを契機に演奏会に足を運んでいただける事を願い今後も続けてまいります。

## オーケストラ・アンサンブル金沢

ゼネラルマネージャー 床坊 剛

「オーケストラの日」が制定されて15年。ジュニアオーケストラなど、子供たちとの共演、楽器体験、オーケストラクイズなど「オーケストラの日」は春休みのイベントとして定着してきたように感じます。振り返ると、池辺晋一郎作曲「新・動物の謝肉祭」、井上道義氏がMCを務め若手指揮者を起用したプログラムなど、普段取り組むことのない企画に挑戦し、オーケストラの楽しさ、魅力を伝えることを考えてきました。コロナ禍で様々な制約がある中、昨年はYouTube生配信、今年は新たにメンバーによるトークショーを企画しました。

より身近に、親しみを感じていただき、地域の人々に愛されるオーケストラを目指すOEKの挑戦はこれからも続きます。



## オーケストラの日 2022 群馬交響楽団

春休みコンサートオーケストラといっしょ！  
～0歳からのコンサート～  
美喜仁桐生文化会館



## オーケストラの日 2022 広島交響楽団

ふるさとシンフォニー IN 志和  
東広島市立志和中学校体育館



## オーケストラの日 2022 首都圏合同イベント

首都圏では昨年に引き続き東京文化会館小ホールより生配信イベントを開催した。今回のテーマは「オーケストラのコンサートができるまで」。お客様に演奏をお届けするまでのオーケストラスタッフや指揮者の様子を密着取材し、オーケストラを深掘りするイベントとなった。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団メンバーの金管五重奏と、角田銅亮マエストロが指揮する神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏も生配信。角田マエストロには昨年に引き続き司会をしていただき、密着取材や演奏指揮にもご協力いただいた。

今回の配信イベントでは首都圏合同イベントの「オーケストラの日」では初となる、オーケストラへの質問を一般募集した。配信中に回答できなかったものは当連盟ホームページやnoteに掲載中。



角田マエストロが指揮する、神奈川フィルの演奏を配信する様子

### 生配信のプログラム

金管アンサンブル：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団メンバーによる金管五重奏

曲目：スザート／ルネッサンス舞曲I, V  
ロシーニ／歌劇「ウィリアム・テル」序曲（スイス軍の行進）

管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団 指揮：角田銅亮

曲目：モーツァルト／交響曲第29番

主催：首都圏オーケストラの日実行委員会 助成：公益財団法人朝日新聞文化財団  
東京・春・音楽祭実行委員会 公益財団法人花王芸術・科学財団  
公益社団法人日本オーケストラ連盟 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団  
公益財団法人ROOM ミュージック ファンデーション  
協力：日本音楽財団（日本財団助成事業）

拍手のタイミングは？



ホームページ



note

指揮しているときは  
あたまの中で  
音符が鳴っている？

ディレクターとして企画、制作をしていただいた美濃部さんに「オーケストラの日2022」の配信イベントを振り返っていただいた。

**Q1. 今回の企画の意図や「オーケストラの日」の取り組みのこれからについて気づかれたことはございますか。**

コロナ禍でオーケストラの窮地を取り上げていただく機会が増えましたが、その中で世間に説明されつくしてきた話ではなく、演奏者にも聴衆にも近いところに構え、現場で頑張っているスタッフに焦点を当てたく、この企画を考えました。

これまでの「オーケストラの日」は特に興味を持っている方や楽器体験を楽しみにしている方が主に来場なさっていましたが、コロナの影響でそれも叶わなくなってしまいました。そして時間の流れによりコロナが人と人の物理的距離だけでなく、元来興味をもっていた人たちの心の距離も引き離してしまっています。この状況下で配信をするという取り組みは、もう一度簡単にオーケストラに触れる機会を提供し、コロナ禍以

前までのお客様のみならず、ライトに興味を持ってくれる人を増やす機会になります。ウィズコロナ状況が浸透していく世の中で、オーケストラを広く知ってもらう為に、「オーケストラの日」ではコロナ禍以前に取り組んでいた指揮者体験・楽器体験などのふれあいを提供しつつ、コロナ禍で行ってきた「配信」という取り組みも同時に続けていただきたいと思います。

**Q2. 美濃部さん自身、オーケストラスタッフとしてのご経歴が長いと思いますが、今回オーケストラスタッフや指揮者への密着を通して改めて何か感じられたことはありますか。**

楽団各々で、規模感やバランスのみならず目的や考え方が異なってくることは当然ですが、それによって楽団員と事務局とのつながり方も明らかに異なっていることです。「自身の所属する楽団の成長につながるか」を考えて仕事できているか、「同じ目的に向かって未来を見通しながら取り組んでいるか」を事務局員として考えていかねばならないと思いますし、時には業界を横断して情報交換し、その情報の中から必要と感ずる方法を所属団体の仕組みに合わせて還元する

ことも必要に感じます。私自身も一人のマネージャーとして、よりコンセントレーションしていきたいと感じました。

一方で、今回の密着映像に多くの視聴者が関心を持ってくれたことが新鮮でした。いつも仕事をする上で事務局員が当たり前に見すぎている光景に興味を持ってくれるのだと。視聴者や聴衆とのコミュニケーションはとても大切です。今回の配信でも視聴者と双方向のやり取りができるような仕組みを作りましたが、リアルタイムのコミュニケーションがさらにやりやすい形の方法を取り入れたら、オーケストラの日はもっと華やかなものになりそうですね。

### 美濃部 敦さん

三重大学および大学院人文社会科学研究科を文化人類学専攻にて修士論文「劇場におけるトランザクション」を提出の上修了。名古屋フィルハーモニー交響楽団でステージのアルバイトで業界に入る。名古屋二期会にてオペラ公演制作チーフおよび所属管弦楽団のマネージャー、東京交響楽団および東響コーラスにて制作を経て、現在仙台フィルハーモニー管弦楽団インスペクター。

# 映像収録・配信のゆくえ

～コロナ禍におけるオーケストラ映像の収録・配信の急増～



2年半にわたる新型コロナ感染症の拡大に伴う、オーケストラを取り巻く環境の変化の一つに、オーケストラの演奏映像の配信の急増があります。

コロナ前においてはテレビの映像を通してオーケストラの演奏映像が多くの方々に届くのは限られた

楽団の映像だけでした。ただし、バルリン・フィルのデジタル・コンサートホール等を通して、いずれこういった波が日本にも及ぶことは漠然と想像はしていましたが、コロナ禍においてその実現が一気に早まり、準備も整わないままに突入したのが現実でした。

今回、テレビ番組の企画制作の会社として、古くよりオーケストラを含むクラシック音楽の映像を収録してきた(株)テレビマンユニオン前社長の中村哲夫さんにQ&Aの形で質問させていただきました。

日本オーケストラ連盟：桑原 浩

**Q1** 私たちはコロナ禍の初め、無料で配信された映像が自らの想像を超える万単位、また日本の地方都市にとどまらず、海外での視聴実績に驚き感動しました。今後配信という行為はオーケストラにとって、必要不可欠なものになるとお考えですか？

よくぞ聞いてくれました。答えはYESです。

もちろんホールで聴く生のオーケストラが最高です。これは、映像のプロである私も大賛成。次に、もし「配信」が単にコンサートホールに行くことの「代替品」だとしたら、コロナから社会が回復するとともに、配信は失速していくでしょう。たしかに配信が目玉されたきっかけは、コロナにありました。コンサート会場にいきたくれども、コロナは怖い、配信で我慢しよう、という話です。

しかし！配信の本質はそこではない。さまざまな分野で「モノ」から「サービス」へ、時代の価値観が変わっていくことに注目すれば、未来が見えてくると思います。

CDやDVDといった「モノ」は、遅かれ早かれ数を減らしていくでしょう。多くはインターネット経由で配信される「サービス」にとって変わっていく。ディスクを作る経費もかからず、流通にまつわる費用も発生しない。しかもユーザーはクリックひとつで音楽をすぐに入手できる。皆ハッピーな「サービス」だからです。「配信」は、これまでCDやDVDが担ってきた手軽に音楽を楽しむ手段として、その未来があると考えます。

しかも「配信」は日本のオーケストラにとって「チャンス」です。これまでCDやDVDではバルリン・フィルやウィーン・フィルなど「売れる」海外オーケストラがメインでした。しかし配信となれば、ディスクの制作費用も、流通するための費用もかからない。採算を気にせず、多くのオーケストラが参加できるマーケットとなるのです。つまり「配信」をCDやDVDを引き継ぐサービスとしてとらえれば、これから「配信」が必要不可欠なものとなり、それはチャンスだと思います。

**Q2** 無料の場合多かった視聴者が、有料にすることによって大幅に減りました。有料であってもある程度の視聴者を確保するために、必要なことは何とお考えですか？

これがわかっただら、私はすでにメディア王になっているでしょう。正解がどこにあるかは、本当にはわかりません。

放送業界では、クラシック音楽のファンは人口の1～2パーセントと言われています。つまりクラシック番組の視聴率は1～2パーセントとなるわけです。この視聴率はとっても低い数字です。この状況にどんなに抵抗しても、一発逆転は難しいでしょう。だったら、まずは「配信」という未来あるメディアを「続ける」ことが大事ではないでしょうか。せっかく立ち上がったこの場所を、今、規模は小さくても守っていこうと思っています。

**Q3** 予算が必ずしも潤沢でない中でこだわるとしたらそのポイントは？

こだわりではないですが、少人数で制作することです。極端に言えば撮影・配信をひとりごなす。無人カメラを多用して、です。そんなことができるのか？という方にご説明します。オーケストラの楽員は動き回らないでしょ、ロックやポップスみたいに。ということは、動き回る音楽家をカメラで追いかける必要がなく、無人カメラをいくつかの楽器に向けて置いておけば良い。それからクラシックのコンサートは照明が一定でしょ。明るくなったり、暗くなったりしない。ということは、ほとんど変わる照明にあわせてカメラのアイリス（絞り）を操作する必要がない。固定の無人カメラで十分です。つまり少人数での撮影が可能なのです。

実は、無人カメラを多用することには、もうひとつ理由があります。オーケストラの映像的なおもしろさは、指揮者と演奏者のコミュニケーションにあると思います。指揮者がある演奏家にむかって指示を出す、たとえば「もっと歌って!」（というアクション）、それをうけて演奏家が大きく体をゆらして「歌う」、といった具合です。それら一連のストーリーを、画面を切り替えながら表現していくわけです。でもそのおもしろさを撮るには、指揮者を撮っている「無人」カメラと、演奏家を撮っている「有人」カメラさえあれば十分です。ひとりできてしまう。

さらにもうひとつ。なぜ少人数にこだわるか。それは、収録する費用をおさえることで、ひとつでも多くのコンサートを撮りたいから。こんなに毎日あちこちでコンサートがあって、それが残らないというのは何とももったいない。

予算が潤沢でないことを逆手にとって、世の中を豊かにできると考えています。

**Q4** 映像の収録・配信にはそれなりの費用がかかります。オーケストラのコロナでない通常期においては、若干の収入になることも期待したいのが本音です。スポンサーなどの必要も含めて、収支の構造の理想的なイメージはありますか？

いま私たちが提供している配信では、ほんとうにお金がかかりません。そして配信収入の大半をオーケストラに配分しています。それは前述したとおり、経費がかからないからです。

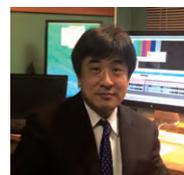
まず実行すべきは、オーケストラはどんどんコンサート配信に参加して、配信のマーケットを拡大すること。配信に携わる私たちは、マーケットが広がるまでは、自分たちの利益だけを求めるのではなく、音楽家や音楽事業者にしっかり配分すること、つまり両者協力してマーケットを大きくすることが肝心かと思います。

オーケストラは、欧米でもアジアでも世界中で楽しられています。マーケットは世界へと広がっているのです。実際、私たちが運営するプラットフォームでは、約15パーセントが海外からの視聴者です。マーケットを世界に広げれば、近い将来「若干の収入」どころではなくなりますよ。

**Q5** オーケストラの映像を収録するにあたり、もっとも大切に考えたいポイントは？

まるでスタッフやカメラやマイクが存在しないように撮影することを大切にしています。少人数のスタッフ、小さくて目立たないカメラやマイク。ステージ上に三脚どーん、なんてのはもってのほか。演奏家にも、聴衆にも、収録チームがいることで何らかの影響が出ないようにすることを旨としています。

コンサートホールこそが最高の場所であることを映像スタッフが理解して、その場にいる音楽家や聴衆との信頼関係を築いてこそ、収録・配信の未来が拓けると思います。



中村哲夫  
1963年生まれ、慶応義塾大学経済学部卒。富士通勤務のち、1997年テレビマンユニオン参加。読売テレビ「遠くへ行きたい」ディレクター、テレビ東京「そして音楽が始まる」

ディレクター・プロデューサー、BS朝日「子供たちに残したい美しい日本のうた」プロデューサーなど。

# 灯を消さない

## —コロナ禍で迎えた「広響プロ化50年」

西村 文 (中国新聞報道センター文化担当)

### 「プロ化50年」の連載に込めた思い

「原子砂漠に咲いた、奇跡の花一輪」。かつて広島交響楽団の2代目理事長を務めた医師の故原田東岷さんが、広響を表した言葉だ。広響の前身にあたるアマチュア楽団は、原爆を生き延びた音楽愛好家たちによって設立された。1972年にプロ楽団として再出発後も、その歩みは苦難の連続であった。

今年、中国新聞文化面の年間企画として、楽団の歴史をたどる連載「プロ化50年 広響ものがたり」(「ヒロシマ平和メディアセンター」のサイトでも公開中)に取り組んでいる。コロナ禍で音楽の危機が叫ばれる中、迎えた50年の節目。広響の灯火を守ってきた有名無名の人々の存在にスポットライトを当てることで、「決してその灯を消してはならない」とのメッセージを発信できればと思っている。

### コロナ禍を支えた市民の応援

世界をコロナ禍が襲う前年の19年夏、広響は長年温めてきたポーランド・ワルシャワ公演を実現した。「Music for Peace」を掲げ、終身名誉指揮者・秋山和慶さんの指揮で、マルタ・アルゲリッチさんとリストのピアノ協奏曲第1番を熱演。シヨパンコンクールの本選会場として有名な国立ワルシャワ・フィルハーモニーホールに詰めかけた聴衆は、総立ちで拍手を送った。

「来年また、東京と広島で会いましょう」。終演後の楽屋で、アルゲリッチさんは楽団員たちにエレガントな笑顔で語りかけた。

その半年後一。新型コロナウイルス感染症の発生によって、20年2月末から4月に及ぶ休演に追い込まれ、アルゲリッチさんと協演する予定だった3月の東京公演は中止に。夏に公演を再開したが、原爆忌の8月6日に広島でアルゲリッチさんを迎えて開催予定だった「平和の夕べ」コンサートは、日本人ソリストへの変更を余儀なくされた。

コロナ禍で大打撃を受けた広響を物心両面で支えたのは、市民からの熱い応援だった。「寄付の窓口を教えてください」との問い合わせを受けて開設した口座などには、20年度末までに

企業や個人から約7,500万円が集まった。「生演奏が聴ける日が待ち遠しい」「大変ですが、頑張ってます」。手紙や差し入れの菓子も数多く届いた。「温かい気持ちが何よりうれしい」。取材中に楽団員がふと漏らした言葉に、心を打たれた。

### 苦渋の公演自粛

一方で、地域に根ざした楽団であるがゆえに、公演を自粛せざるを得ない局面もあった。21年1月に開催予定だった「第400回」の節目となる定期演奏会は、間近になって「無観客でネット配信」とすることが、広響事務局から発表された。広島県が打ち出した独自の厳しい感染防止対策を受けての決断だった。

当時、全国の主要オーケストラで観客を迎えるの定演を中止しているのは、広響だけだった。「感染者が桁違いに多い東京や大阪でも公演を続行しているのに」と、首をかしげる広響ファンもいた。

当時、取材に対して下野竜也・音楽総監督は「地元から多大な支援を受けている楽団として、コロナに立ち向かう市民や行政と足並みをそろえるべきだと決断した」と苦渋の思いを明かした。

専用の音楽ホールを持たない広響が主に演奏会場として使用しているのは、広島市中区にある3つの多目的ホール。いずれも市が所管する公共施設だ。

コロナ禍において広島県内の公共ホールは自治体の方針に沿って休館を繰り返し、公演やイベントの主権者には自粛を求めてきた。東京や大阪など大都市の公共ホールが徐々にウィズコロナにかじを切り、制限を設けた上で開館したのとは対照的だった。県内の公共ホールの元館長は「地方では横並びで閉館せざるを得ない」と明かす。

広島県内では多くの文化・芸術団体が公共ホールの自粛要請を受け入れ、公演を中止。準備に掛かった経費が赤字となつてのしかかり、休止・解散に追い込まれた団体もある。今、地方文化は土台から揺らいでいる。



▲萩原麻未さんが被爆ピアノを演奏した「平和の夕べ」コンサート(20年8月) 写真提供:中国新聞社

### 文化・芸術の「砦」として

2年以上に及ぶコロナ禍で、広響は依頼公演を中心に計66公演が中止となり、減収は1億6千万円に上った。しかし、楽団の「顔」である定期演奏会は無観客でも開催し、楽団の歴史を繋ぐ懸命な努力を続けてきた。

苦境にあえぐ地元の音楽団体を取材した際、「広島に広響があつてよかった」「頑張る広響の姿が希望だ」という言葉をよく耳にした。地域の文化・芸術を守る「砦」としての存在感を増した証左といえよう。

こうした気概で公演を続けた広響が、「奇跡の花一輪」を咲かせる瞬間に出会えたことは、記者人生で忘れられない体験となった。20年8月、アルゲリッチさんの代役を、広島市出身のピアニスト萩原麻未さんが務めた「平和の夕べ」コンサート。広島で被爆死した女子学生の遺品のピアノを、被爆3世の萩原さんがその魂に寄り添うように奏で、深い感動を覚えた。

同年12月の「被爆75年特別定演」も忘れがたい。タクトを担ったのは、このとき広響のためだけにロシアから来日した、88歳の名指揮者ウラディーミル・フェドセーエフさん。



▶リハーサルで広響を指揮するフェドセーエフさん(20年12月) 写真提供:中国新聞社

「私も同じ戦争経験者として広島の人々の気持ちが分かる」と語り、本番ではチャイコフスキーの「祈り」をアンコールとした。「音楽が平和の懸け橋となるよう」。マエストロの人なつこい笑顔とともに、その言葉が今、重みを増して思い返される。

## 2022年度文化庁、「文化芸術創造活動活性化事業」などの支援内容について

2022年度文化芸術振興費補助金による「舞台芸術創造活動活性化事業」の採択内容の決定が発表された。全体予算はこの数年とほぼ同額の3,307(百万円)。このうち音楽部門もほぼ変化なしの1,792(百万円)。音楽部門の中でオーケストラ(連盟加盟団体)は昨年より13(百万円)の微減の1,386(百万円)。最も低かった2015年度と比べると62(百万円)の増

加でこの数年はほとんど同額で推移している。芸術団体にとってその根幹となる活動に充てられる本予算は今後大きな増加は難しいと考えられている。助成を受けている団体数は27団体、新しく富士山静岡交響楽団が加わった。この中で上限額の1億円を獲得している団体は4団体であり、最も多かった年より4団体減っている。この他の助成として、「芸術文化振興基金

の助成」は10団体で、42(百万円)。このうち2つの助成金に重複している団体が6団体ある。芸術文化振興基金が低金利によりその予算が減っていることから、令和5年度からは重複した申請が不可となる。その結果、来年度は「舞台芸術創造活動活性化事業」の予算が増えない場合、各団体にとっては厳しい状況が予想される。

### 「アフィニス夏の音楽祭 2022 Nagaoka」開催について

1989年に長野県飯田市で始まった「アフィニス夏の音楽祭」は2009年以降、広島と山形で交互に開催されてきた。その後、2019年より新潟県長岡市に開催地が変わったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け2020年は中止、2021年は海外とのオンラインでの指導、その他配信などを駆使した形での実施となっていた。

今年は久しぶりに通常の形での開催となる。期間は8月21日(日)から28日(日)までの8日間。会場は長岡リリックホール。川崎洋介音楽監督のもと、海外のオーケストラから優れた演奏家を講師として招く。

#### 【プログラム】

主なコンサートは以下のとおり。会場は長岡リリックホール・コンサートホール

#### 8月26日(金)19:00 <室内楽演奏会【1】>

S. コールリッジ=テイラー/クラリネット五重奏曲 嬰へ短調 op.10

J. タワー/ライジング 《日本初演》

ラヴェル/ステファヌ・マラルメの3つの詩メンデルズゾーン/弦楽八重奏曲 変ホ長調 op.20

#### 8月27日(土)15:00 <室内楽演奏会【2】>

M. ベイツ/ライフ・オブ・バーズ 《日本初演》

ブラームス/弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 op.111

シューマン/ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

#### 8月28日(日)14:00 <あいうえ音楽会>

ニールセン/小組曲 op.1

M. ベイツ/ライフ・オブ・バーズ 《日本初演》

ラヴェル/ステファヌ・マラルメの3つの詩

J. モンゴメリー/ストラム 《日本初演》

出演：アフィニス祝祭管弦楽団

出演：アフィニス祝祭管弦楽団

出演：アフィニス祝祭管弦楽団

出演：アフィニス祝祭管弦楽団

出演：アフィニス祝祭管弦楽団

出演：アフィニス祝祭管弦楽団

出演：アフィニス祝祭管弦楽団

ヘンリック・ホッホシルト (ヴァイオリン)

ライブツィッヒ・ゲヴェントハウス管弦楽団 コンサートマスター

ポール・ベシュティ (ヴィオラ)

南西ドイツ放送交響楽団 ソロ・ヴィオラ奏者

ヴォルフラム・ケッセル (チェロ)

アメリカ弦楽四重奏団 チェロ奏者

ジョアンナ・グフレール (フルート)

オタワ・ナショナルアーツセンター管弦楽団 首席フルート奏者

インヒュク・チョウ (クラリネット)

メトロポリタン歌劇場管弦楽団 首席クラリネット奏者

ヴァディム・セレブリャーニー (ピアノ)

イサカカレッジ准教授

#### 【ゲスト】

林 美智子 (メゾ・ソプラノ)

詳しくは以下をご覧ください。

[https://www.affinis.or.jp/summer\\_j/](https://www.affinis.or.jp/summer_j/)

### 「フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2022」の開催

この夏も7月23日(土)から8月11日(木・祝)の期間、ミュージア川崎シンフォニーホールを中心に「フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2022」が開催される。

**オープニングの23日**は例年通り音楽監督であるジョナサン・ノット指揮による東京交響楽団による演奏。“ジャズとダンス—虹色の20世紀”と題したノットさんらしいアイデアの詰まったコンサート。葬送から花火、そしてワルツ。そこにジャズの要素とクラシックが絡むエキサイティングなプログラム。**28日**は恩師バースタインの曲を中心に大植英次さんが神奈川フィルと共演。**29日**は数年後の指揮者引退を宣言した井上道義さんの「告別」と「絶筆」という意味深いプログラム。**30日**は下野竜也・NHK交響楽団の演奏。下野さんがお得意のオーケストラへの編曲物のパッサに始まり、今や日本を代表するヴァイオリニスト三浦文彰さんのブルッフ、後半は暑い夏に人気のベト7。**8月2日**は東京都交響楽団首席指揮者のA. ギルバートさんによるロシア・フランスプロ。**3日**は新日本フィルの創立者の一人でもあり、その才能は天才と言われ、幅広い音楽分野で活躍をした山本直純の生誕90年を記念するコンサート。**4日**は藤岡幸夫・東京シティ・フィルが満80歳を迎えた名クラリネット奏者のR. ストルツ

マンさんと共演。日本のジャズ・ミュージシャンたちとの共演も楽しみ。**5日**は大阪からの参加となる大阪フィルが尾高忠明さんの得意とするエルガーの交響曲第1番で登場。ちなみにこの秋ミュージア川崎でラトル・ロンドン交響楽団が2番の交響曲を演奏する予定になっており、必ずしも演奏頻度の高くないエルガーの全ての交響曲を短期間で川崎で聴くことができる。**7日**は東京フィルを久しぶりに桂冠指揮者のエッティンガーさんが指揮。**10日**には近年活躍が続くソプラノの森谷真理さんがR. シュトラウスの美しい名曲で日本フィルに登場。**11日**に人気の原田慶太楼さんの指揮、東京交響楽団とのコルンゴルド、武満徹の映画音楽、プロコフィエフのバレエ音楽で幕を閉じる。このほかにも音大オケ、ピアノ、ジャズ、オルガンのコンサート、新百合ヶ丘でのオーケストラコンサートなどがある。

ミュージア川崎は新型コロナウイルス感染症の拡大以降、最も積極的に配信を行ってきたホールのひとつ。今年の音楽祭もすべての公演が生およびアーカイブ配信が行われる。

詳しくは以下をご覧ください

<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

### 「アジア オーケストラ ウィーク 2022」の開催

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭主催公演アジアオーケストラ ウィーク 2022が10月5日(水)~7日(金)東京オペラシティコンサートホールで開催される。開演はいずれも19時。

10月5日(水) マニラ交響楽団

10月6日(木) 琉球交響楽団

10月7日(金) KBS交響楽団

アジアからのオーケストラの招聘は3年ぶりとなる。

#### 表彰・受賞

### 第8回仙台国際音楽コンクールが開催

第8回仙台国際音楽コンクールはヴァイオリン部門が5月21日~6月5日、ピアノ部門が6月7日から26日まで開催された。審査結果は以下の通り。(写真提供：仙台国際音楽コンクール事務局)

#### 【ヴァイオリン部門】

第1位 中野りな(日本 2004年生まれ)

第2位 デニス・ガザノフ(ロシア 1994年生まれ)  
マー・ティエンヨウ(中国 2000年生まれ)

第4位 ホン・ソンラン(韓国 2001年生まれ)  
橋和美優(日本 2001年生まれ)

第6位 中村友希乃(日本 1995年生まれ)



川崎洋介音楽監督率いる弦楽四重奏(2019年音楽祭より)

## 【ピアノ部門】

- 第1位 ルウオ・ジャチン（中国 1999 年生まれ）  
第2位 ヨナス・アウミラー（ドイツ 1998 年生まれ）  
第3位 太田糸音（日本 2000 年生まれ）  
第4位 ジョンファン・キム（ドイツ 2000 年生まれ）  
キム・ソンヒョン（韓国 2002 年生まれ）  
第6位 ジョージ・ハリオノ（イギリス 2001 年生まれ）

共演オーケストラは仙台フィルハーモニー管弦楽団を中心に山形交響楽団も参加。

指揮は広上淳一さん（ヴァイオリン部門）と高関健さん（ピアノ部門）。



中野りなさん (Vn.)



ルウオ・ジャチンさん (Pf.)

## 第31 回出光音楽賞をチェロの上野通明さん、ヴァイオリンの岡本誠司さん、ピアノの小林愛実さんが受賞

「出光音楽賞」は出光興産株式会社主催の音楽賞で、主にクラシックの音楽活動を対象に、育成という観点から意欲、素質、将来性などに重きを置き、新進の音楽家を顕彰するもの。今回の受賞者は、チェロの上野通明さん、ヴァイオリンの岡本誠司さん、ピアノの小林愛実さんの3名。（選考の対象期間は新型コロナウイルス感染拡大に伴う音楽家の活動機会の減少を配慮し、2020年、2021年の2年間）

上野通明さんは1995年パラグアイのアスンシオン生まれ。5歳よりチェロをはじめ幼少期で

スペイン、バルセロナで過ごす。13歳で若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールで優勝。桐朋学園大学でソリスト・ディプロマ・コースを経て19歳で渡独し、R.シューマン大学デュッセルドルフに留学。2021年ジュネーブ国際音楽コンクールチェロ部門で優勝。その他多くのコンクールで優勝している。

岡本誠司さんは1994年千葉県市川市の生まれ。2014年「第19回J.S.バッハ国際コンクール（ライブツィヒ）」のヴァイオリン部門で優勝。その後、ヴェニツィアスキ国際コンクール第2位、エリザベト王妃国際コンクールでの入賞を経て、2021年9月にはARDミュンヘン国際音楽コンクールで第1位。その他受賞歴多数。反田恭平さんが立ち上げたJapan National Orchestraのコアメンバー。

小林愛実さんは1995年山口県宇部市の生まれ。3歳からピアノを始めて7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビュー。2010年ショパン生誕200年記念に際して、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与された。2015年「第17回ショパン国際ピアノコンクール」ファイナリスト。2021年「第18回ショパン国際ピアノコンクール」において第4位。

## 第53回サントリー音楽賞に濱田芳通さん

第53回（2021年度）サントリー音楽賞に指揮であり、リコーダー、ホルネット奏者の濱田芳通さんが選出された。これまでの豊かな知識に裏付けられた、ヨーロッパ音楽へのグローバルな視点に基づく活動を評価したうえで、近年

のバロック・オペラ公演において新たな情報に基づき、新たな生命力を吹き込み、また「メサイア」公演においては最小限のアンサンブルを用いて、機動性と柔軟性の両面に秀で、また即興性、意外性に富んだ演奏が評価された。

## 「2021年度音楽クリティック・クラブ賞」を飯守泰次郎×関西フィル公演が受賞

飯守泰次郎指揮による関西フィルハーモニー管弦楽団の「ワーグナー特別演奏会」が「2021年度音楽クリティック・クラブ賞」を受賞した。この賞は関西音楽界の一層の活性化を図るため毎年1回、関西に在住する音楽評論家で行く「音楽クリティック・クラブ」が贈るもの。

受賞理由はコロナ禍で縮小されたとはいえ、「ワーグナー特別演奏会」を企画し、4つのオペラの抜粋という形で実現した、指揮者とオーケストラの長年にわたる活動の総集約と言っていいような出来栄が評価されたもの。

## 日本フィルが「第16回後藤新平賞」を受賞

この度、日本フィルハーモニー交響楽団は「第16回後藤新平賞」を受賞した。日本フィルが東日本大震災の被災地で継続している「被災地に音楽を」の活動が評価されたもの。

この賞は「人」を育てながら地域や国家の発展に寄与した後藤新平のように、文明のあり方そのものを思索しそれを新しく方向づける業績をあげたものを一年に1回表彰するもの。個人でない団体としては初めての受賞となる。

## リレーエッセイ

オケ連の黎明期をはじめ、創設にご尽力頂いた方々のエッセイをお届けしています。

## あの頃の思い出



元新日本フィルハーモニー交響楽団  
専務理事

## 松原 千代繁

国庫補助金が文化庁を通して在京のオーケストラに交付されるようになった当初、在京10団体（神奈川フィルを含む）の中には法人格を持たない任意団体が含まれており、文化庁からは非公式に法人化を目指すよう忠告されたのを覚えている。基本財産は当時3億円が必要と言われていたが、その時の文化庁担当者から「松原さん、

何とか1億円を集めてもらえませんか？」と提案されたのが夏の暑い日で、途方にくれて歩いたのが昨日のように想いおこされる。

その後、音楽を愛する企業人であった坂田俊夫さん（法人化後副理事長に就任）のご厚情により新日本フィルが法人化を果たした折、在京のオーケストラの事情のみではなく全国のオーケストラ界を見渡した時に、地方都市のオーケストラはそれぞれ各地の音楽文化の発展、維持に重要な意味を持っていることを再認識し、それがやがて在京のオーケストラのみならず全国の統一された組織「日本オーケストラ連盟」につながったのを覚えている。

その間その連盟設立に努力された先輩、同僚の努力の結果、現在の全国38団体が参加する「公益社団法人 日本オーケストラ連盟」に繋がるのである（設立当時は社団法人）。勿論、その設立には金山さん（東京交響楽団）、松木さん（東京フィルハーモニー交響楽団）、田辺さん（日本フィ

ルハーモニー交響楽団）、支倉さん（新日本フィルハーモニー交響楽団）、樽松さん（新星日本交響楽団）、高崎さん（読売日本交響楽団）らの在京オーケストラの重鎮たちの自身のオーケストラを想う強い気持ちがある結果につながったのは論を待たないが、初代常務理事の岡山尚幹さんがフジTV時代ニューヨーク支局長やパリ支局長を歴任された経験から、欧米のオーケストラが市民文化の中核をなしている事を実感された事が当初18団体の参加団体が現在の38団体になる礎を築いた事にあたりすると記する次第である。

## プロフィール 松原 千代繁（まつばら ちよしげ）

昭和16年兵庫県生まれ。新日本フィルハーモニー交響楽団にホルン奏者として入団。演奏家として活躍の後マネージメントに移り、専務理事・事務局長を務める。その間、日本オーケストラ連盟の設立に尽力したメンバーの一人。その後、東京藝術大学で客員教授。長野市芸術館、神戸市室内管弦楽団、尼崎市文化振興財団などで要職を務め、現在もクラシック音楽文化普及のために活躍している。

# コンサート津々浦々

加盟オーケストラの2022年6月時点での情報です。  
今後の状況により変更を余儀なくされる場合もございますので、  
コンサート実施の最新情報はそれぞれのオーケストラのホームページ等で  
ご確認くださいませようお願いします。



■ 正会員 ■ 準会員

## 札幌交響楽団

問合せ 011-520-1771

### 定期演奏会 ~会場:札幌コンサートホールKitara~

第647回 9月10日(土)17時 / 11日(日)13時

指揮: オッコ・カム ヴァイオリン: 三浦文彰  
【曲目】 シベリウス 交響詩「大洋女神」・ヴァイオリン協奏曲・レンミンカイネン組曲

第648回 10月22日(土)17時 / 23日(日)13時

指揮: マティアス・パーメルト チェロ: 佐藤晴真 独唱: 安井陽子、山下牧子、櫻田 亮、甲斐栄次郎 合唱: 札幌合唱団  
【曲目】 メンデルスゾーン 序曲「静かな海と楽しい航海」 C.P.E. バッハ チェロ協奏曲イ長調  
ハイドン ミサ曲ハ長調「戦時のミサ」

各1回券=SS7,000円 S6,000円 A5,000円 B4,500円 C3,500円  
\*U25割(1997年以降生まれ) B,C 1,500円 当日販売限定スマイル席2,000円

### 札幌名曲コンサート ~会場:札幌コンサートホールKitara~

「下野竜也の三大交響曲」9月3日(土)14時 指揮: 下野竜也

「宗利音の日曜日」11月6日(日)14時 指揮: 松本宗利音 ピアノ: 松田華音  
各1回券=SS 5,000円 S4,000円 A3,000円 ※U25割(1997年以降生まれ) A1200円

詳細は、公式ホームページをご覧ください <https://www.sso.or.jp>



首席指揮者:  
マティアス・パーメルト



札幌交響楽団  
公式ホームページ



## 仙台フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 022-225-3934

### 定期演奏会 会場:日立システムズホール仙台・コンサートホール

金曜日 各日19時開演  
土曜日 各日15時開演

第357回

9月16日(金) 9月17日(土)

指揮: バスカル・ヴェロ  
ストラヴィンスキー: 室内オーケストラのための協奏曲  
「ダンバートン・オークス」

シューベルト: 交響曲第5番

ストラヴィンスキー:  
バレエ音楽「ペトルーシュカ」  
(1947年版)



第358回

10月7日(金) 10月8日(土)

指揮: 飯守泰次郎  
チェロ: 佐藤晴真  
ドヴォルザーク: チェロ協奏曲  
シューマン: 交響曲第3番「ライン」



第359回

11月18日(金) 11月19日(土)

指揮: 下野竜也 ヴァイオリン: 三浦文彰  
ハイドン: 交響曲第41番  
ベルク: ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」  
モーツァルト: 交響曲第41番「ジュピター」



【全席指定】 S席: ¥5,100 S席ユース: ¥2,000 A席: ¥4,600 A席ユース: ¥1,500 Z席: ¥2,000 ※ユース: 演奏会当日25歳未満の方が対象

お申込み・お問合せ: 仙台フィルサービス 022-225-3934 <https://www.sendaiphil.jp/>

## 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 03-3766-0876

### 歌劇派 夏の歌まつり

2022.8.12(金) 18:20 Open 19:00 Start  
ティアラことう大ホール(江東公会堂)



オーケストラ: 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団  
合唱: 歌劇派スペシャルコーラス



指定席 5,000円 自由席 3,000円

チケット発売: チケットぴあ・PassMarket



<プログラム>

第1部: ルロイ・アンダーソンより「シンコパティッド・クロック」他  
第2部: ハンデル「オンブラ・マイ・フ」、プッチーニ「誰も寝てはならぬ」他  
第3部: ベートーヴェン交響曲第九番より 第4楽章



主催: 歌劇派 (お問合せ: 歌劇派事務局 Mail: kagekiha2019@gmail.com Tel: 070-8536-4607 (10:00~20:00))

山響50th Anniversary "Soloistic"

定期演奏会 [会場] 山形テルサ [開演] 土曜19:00/日曜15:00 [チケット料金] A席:4,800円 B席:4,300円 学生(B席):2,600円 Bペア:7,400円



山響公式 HP

山響 WEB チケット

第303回 9月10日(土)/11日(日)

指揮:鈴木 秀美 チェロ:ステイーヴン・イッサーリス
ウェバー:歌劇「オベロン」J. 306 序曲
シューマン:チェロ協奏曲 イ短調 作品 129
ブルッフ:コル・ニドライ 作品 47
ヒンデミット:バレエ音楽「気高い幻想」組曲



第304回 10月22日(土)/23日(日)

指揮:原田 慶太楼 ピアノ:阪田 知樹
小田実結子:山響創立50周年記念委嘱作品(世界初演)
ドヴォルザーク:ピアノ協奏曲ト短調作品 33
ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調
「新世界より」作品 95



第305回 11月19日(土)/20日(日)

指揮:阪 哲朗 ピアノ:藤田 真央
ヘンデル:合奏協奏曲ト長調 作品6-1 HWV 319
マルタン:7つの管楽器、ティンパニ、打楽器、
弦楽器のための協奏曲
ブラームス:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品 83



(お問合せ・お申し込み) 山響チケットサービス TEL: 023-616-6607 (月~金 ※祝日を除く10:00~17:00)

群馬交響楽団

2022-23 定期演奏会 中期シーズン

定期演奏会チケット 各回共通 1回券(全席指定)
SS席:6,500円 S席:5,500円 A席:5,000円
B席:4,000円 C席:3,000円 ※東京公演は別料金



Meet the オーケストラ!
2022群馬夏休みコンサート
~アンダー・ソーン・ワンダーランド!~



第581回 9月3日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場

指揮/バスカル・ヴェロ ヴァイオリン/辻 彩奈\*
フランク/交響詩《呪われた狩人》FWV.44
サン＝サーンス/ヴァイオリン協奏曲 第3番 短調 作品 61\*
ドビュッシー/交響詩《海》
デュカス/交響詩《魔法使いの弟子》

第582回 10月23日(日) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場

指揮/山下一史 ソプラノ/小林厚子 メゾソプラノ/鳥木弥生
テノール/澤崎一了 バリトン/伊藤貴之 合唱/群馬交響楽団合唱団(合唱指揮/阿部 純)
ベートーヴェン/荘厳ミサ曲 ニ長調 作品 123

第583回 11月26日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場

東京公演 11月27日(日) 15:00 すみだトリフォニーホール 大ホール

指揮/ジョセフ・ウォルフ チェロ/ミハル・カニユカ\*
ドヴォルザーク/チェロ協奏曲 短調 作品 104, B.191\*
シベリウス/交響曲 第2番 ニ長調 作品 43
東京講演(全席指定)
S席:6,000円 A席:5,000円
B席:4,000円 C席:3,000円



8月13日(土)・21日(日) 両日15:00開演
高崎芸術劇場 大劇場
指揮/原田慶太楼 ピアノ/金子三勇士\*
案内人/TARAKO 他
アンダーソン/シンコペーテッド・クロック
タイプライター
トランペット吹きの休日
ピアノ協奏曲 第3楽章\*
ガッシュウィン/アイ・ガット・リズム変奏曲\* 他



チケット(全席指定)
大人 S席 4,000円
A席 3,000円
B席 2,500円
子ども S席 2,000円
A席 1,500円
B席 1,000円
(2歳未満は観覧不可)



群馬交響楽団 HP

各コンサートの詳細・チケットについては群馬HPをご覧ください。 http://www.gunkyo.com/ 群馬交響楽団事務局(平日10:00~18:00) 027-322-4944 (チケット専用電話)

NHK交響楽団

2022-23シーズン定期公演 AUTUMN(2022年9月-11月)



Aプログラム NHKホール
18:00
14:00

第1962回 | 9/10(土), 11(日)
指揮:ファビオ・ルイーゼ
独唱:H.ゲルズマーワ、O.ペトロヴァ、
R.バルベラ、ヨン・グァンチョル、
合唱:新国立劇場合唱団
ファビオ・ルイーゼ首席指揮者就任記念
ヴェルディ/レクイエム

第1965回 | 10/15(土), 16(日)
指揮:ハルベルト・ブロムシュテット
マーラー/交響曲 第9番

第1968回 | 11/12(土), 13(日)
指揮:井上道義
伊福部 昭/シンフォニア・タブカーラ
ショスタコヴィッチ/交響曲 第10番

Bプログラム サントリーホール
19:00
19:00

第1964回 | 9/21(水), 22(木)
指揮:ファビオ・ルイーゼ
ヴァイオリン:ジェームズ・エーネス
ファビオ・ルイーゼ首席指揮者就任記念
ベートーヴェン/ヴァイオリン協奏曲
ブラームス/交響曲 第2番

第1967回 | 10/26(水), 27(木)
指揮:ハルベルト・ブロムシュテット
ピアノ:オリム・ストネン
グリーグ/ピアノ協奏曲
ニルゼン/交響曲 第3番「広がり」

第1970回 | 11/23(水・祝), 24(木)
指揮:レナード・スラットキン
ヴァイオリン:レイ・チェン
ヴォーン・ウィリアムズ生誕150年
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲
ヴォーン・ウィリアムズ/交響曲 第5番 ほか

Cプログラム NHKホール
19:30
14:00

第1963回 | 9/16(金), 17(土)
指揮:ファビオ・ルイーゼ
オーボエ:エヴァ・スタイナー
ファビオ・ルイーゼ首席指揮者就任記念
R. シュトラウス/交響詩「ドン・ファン」、
オーボエ協奏曲、歌劇「ぼろの騎士」組曲
リニエール! Cプログラム! ■全公演「休憩のない60~80分程度の公演」に ■料金をよりリーズナブルに ■「開演前の室内楽」開催

第1966回 | 10/21(金), 22(土)
指揮:ハルベルト・ブロムシュテット
シューベルト/交響曲 第1番
シューベルト/交響曲 第6番

第1969回 | 11/18(金), 19(土)
指揮:レナード・スラットキン
コーブランド/
バレエ音楽「アラバチアの春」(全曲)、
バレエ音楽「ロデオ」(全曲)

特別公演



明電舎 presents
NHK名曲コンサート
9/5(月) 19:00
サントリーホール
指揮:沼尻竜典
ヴァイオリン:金川真弓

シベリウス/交響詩「フィンランディア」
ブルッフ/スコットランド幻想曲
ブラームス/交響曲 第4番

www.nhkso.or.jp

Follow us on



やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。

藝大フィルハーモニア管弦楽団

2022.10.14(金) 19:00開演 指揮・ピアノ:迫 昭嘉

全席指定 4,000円(当日券販売なし) 会場:東京藝術大学奏楽堂

その他詳細はこちら → https://www.geidai.ac.jp/event/sogakudo/sogakudo\_2022-3



2022年度 モーニング・コンサート

全席指定 1,500円(当日券販売なし) 11:00開演

Table with 2 columns: Concert Number and Date. Rows include 9th (Sep 8), 10th (Nov 17), 11th (Feb 9), 12th (Feb 16), and 13th (Mar 16).



2022/2023シーズン定期演奏会、チケット好評販売中!

https://www.njp.or.jp

第643回定期演奏会

すみだクラシックへの扉 第9回

第644回定期演奏会

2022/9/10 (土) 14:00 すみだトリフォニーホール
2022/9/12 (月) 19:00 サントリーホール

指揮=マルクス・シュテンツ
ベルリオーズ/序曲「ローマの謝肉祭」op.9
ラヴェル/組曲「マ・メール・ロフ」
ベートーヴェン/交響曲第3番 変ホ長調「英雄」op.55

2022/9/16 (金)・17 (土) 両日 14:00
すみだトリフォニーホール

指揮=小泉和裕 ピアノ=清水和音\*
ブラームス/ピアノ協奏曲第1番 二短調 op.15\*
ブラームス/交響曲第1番 ハ短調 op.68

2022/10/1 (土) 14:00 すみだトリフォニーホール
2022/10/3 (月) 19:00 サントリーホール

指揮=尾高忠明 ソプラノ=ユリアーネ・バンゼ
R.シュトラウス/セレナード 変ホ長調 op.7, TrV 106
R.シュトラウス/4つの最後の歌 op. posth. TrV 296
R.シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」op.40, TrV 190



東京交響楽団

問合せ 044-520-1511

9月17日(土) 18:00 サントリーホール
18日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮=アジス・シヨハキモフ トランペット=ティエネ・テイング・ヘルセツト
ドビュッシー:「管弦楽のための映像」より「イペリア」
トマジ:トランペット協奏曲
プロコフィエフ:交響曲 第5番 変ロ長調
[9月17日]S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000 P¥2,500
[9月18日]S¥8,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000 P¥2,500



10月15日(土) 18:00
サントリーホール

指揮=ジョナサン・ノット
ソプラノ=安川みく
ラヴェル:道化師の朝の歌(管弦楽版) -鏡より
ラヴェル:歌曲集「シェエラザード」
ショスタコーヴィチ:
交響曲 第4番 ハ短調

S¥9,000
A¥7,000
B¥6,000
C¥4,000
P¥3,000



10月22日(土) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール
23日(日) 14:00 サントリーホール

指揮=ジョナサン・ノット
シェーンベルク:5つの管弦楽曲
ウェーベルン:パッサカリア
ブルックナー:交響曲 第2番 ハ短調
[10月22日]S¥9,000 A¥7,000 B¥5,000 C¥4,000 P¥3,000
[10月23日]S¥9,000 A¥7,000 B¥6,000 C¥4,000 P¥3,000



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 03-5624-4002

オータムシーズン シーズンセット券・1公演券発売中!

定期演奏会 会場:東京オペラシティ コンサートホール 全日 19時開演

第354回 2022年9月2日(金)

【指揮】高関健(常任指揮者)
【ヴァイオリン】竹澤恭子
エルガー:
ヴァイオリン協奏曲 短調 作品 61
シベリウス:
交響曲第4番 イ短調 作品 63



第355回 2022年10月28日(金)

【指揮】鈴木秀美
ハイドン:交響曲第12番 ホ長調 Hob. I :12
ハイドン:交響曲第92番 ト長調
Hob. I :92「オックスフォード」
ベートーヴェン:
交響曲第7番 イ長調 作品 92



第356回 2022年11月10日(木)

【指揮】藤岡幸夫(首席客演指揮者)
【ピアノ】寺田悦子、渡邊規久雄
ヴォーン・ウィリアムズ:
トマス・タリスの主題による幻想曲
ヴォーン・ウィリアムズ:2台のピアノのための協奏曲
ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲
ドビュッシー:交響詩「海」



第70回 2022年9月23日(金・祝) 15時開演

【指揮】藤岡幸夫(首席客演指揮者)【ソプラノ】高野百合絵
ビゼー:歌劇「カルメン」より第1幕 前奏曲
ビゼー:歌劇「カルメン」より「ハバナラ」
シャブリエ:狂詩曲「スペイン」
ドリーブ:カデイスの娘たち
ファリャ:バレエ「恋は魔術師」より火祭りの踊り
チャビ:サルセラ「セバデオの娘たち」より 因われ人の歌
ファリャ:バレエ音楽「三角帽子」(全曲)



チケット料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000(座席指定・税込) U20 ¥1,000(座席指定不可・税込)
U30 ¥2,000(座席指定不可・税込) プラチナ S席¥4,500 プラチナ A席¥3,500(60歳以上・税込)

S席¥3,500 A席¥3,000 B席¥2,500(座席指定・税込)
U20¥1,000 U30¥1,500(座席指定不可・税込)

千葉交響楽団

問合せ 043-222-4231

第112回定期演奏会 奔放な楽想に遊ぶ

2022年10月15日(土) 14時開演 千葉県文化会館大ホール

吉松隆/トロンボーン協奏曲「オリオン・マシーン」
ブラームス/交響曲第3番 へ長調 作品 90

指揮:山下一史(音楽監督)
トロンボーン:箱山芳樹(千葉交響楽団)



入場料・全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円

**第957回定期演奏会 Cシリーズ** 2022年9月3日(土) 14:00開演 東京芸術劇場

指揮/大野和士 ヴァイオリン/アリーナ・イブラギモヴァ  
 プラームス: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77  
 プラームス: 交響曲第2番 ニ長調 op.73

S席¥7,500 A席¥6,500 B席¥5,500 C席¥4,500 Ex席¥3,200  
 シルバーエイジ(65歳以上) S席~C席2割引、U-25(25歳以下) S席~C席5割引

**第958回定期演奏会 Bシリーズ** 2022年9月9日(金) 19:00開演 サントリーホール

指揮/大野和士 ソプラノ/小林厚子、アルト/山下裕賀、テノール/福井 敬、バス/妻屋秀和、  
 オルガン/大木麻理、合唱/新国立劇場合唱団

ドヴォルザーク: 交響曲第5番 ヘ長調 op.76  
 ヤナーチェク: グラゴル・ミサ (1927年第1稿)

S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000 C席¥5,000  
 シルバーエイジ(65歳以上) S席~C席2割引、U-25(25歳以下) S席~C席5割引

お問合せ 都響ガイド 0570-056-057 (平日 10:00 ~ 18:00) <https://www.tmso.or.jp/>



指揮  
大野和士

© Herbie Yamaguchi

**パシフィックフィルハーモニア東京(旧:東京ニューシティ管弦楽団)**

東京芸術劇場定期演奏会

第151回定期演奏会

**9月10日(土)**  
 開演14:00 (13:00開場)  
 指揮・ヴァイオリン: オーギュスタン・デュメイ  
 ベートーヴェン/ロマンス第2番 ヘ長調 作品50  
 モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第3番  
 ト長調 K.216  
 ベートーヴェン/交響曲第7番 イ長調 作品92



第153回定期演奏会

**11月12日(土)**  
 開演14:00 (13:00開場)  
 指揮: 秋山和慶 チェロ: 新倉 瞳  
 ラヴェル/組曲「クープランの墓」  
 エルガー/  
 チェロ協奏曲 ホ短調 作品85  
 ニールセン/交響曲第4番 作品29「不滅」



サントリーホール・シリーズ

第152回定期演奏会

**10月4日(火)**  
 開演19:00 (18:00開場)  
 指揮: 飯森範親  
 ピアノ: 角野隼斗 合唱: 東京混声合唱団  
 トーマス・アデス/  
 ピアノと管弦楽のための協奏曲 (本邦初演)  
 ホルスト/組曲「惑星」作品32



チケット・お問い合わせ

【チケットオフィス】  
 03-5726-9008  
 (平日10時~18時)



WEB 予約

《東京芸術劇場》		《サントリーホール》	
SS席: 8,500円	S席: 7,000円	SS席: 9,500円	S席: 8,000円
A席: 5,500円	B席: 4,500円	A席: 6,500円	B席: 5,000円
C席: 3,500円		C席: 4,000円	

ppt.or.jp  
 PACIFIC PHILHARMONIA TOKYO  
 NORIHIKA IIMORI  
 MUSIC DIRECTOR  
 公式 HP

東京フィルハーモニー交響楽団

2022シーズン定期演奏会

チケット料金(税込・全席指定) SS席¥15,000 S席¥10,000 A席¥8,500 B席¥7,000 C席¥5,500

東京フィルチケットサービス 03-5353-9522 (10~18時・チケット発売日を除く土日祝休) 東京フィルWEBチケットサービス [www.tpo.or.jp/](http://www.tpo.or.jp/)

9月

**15日(木)** 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール  
**16日(金)** 19:00開演 サントリーホール 大ホール  
**19日(月・祝)** 15:00開演 Bunkamura オーチャードホール  
 指揮: アンドレア・バッティストーニ (首席指揮者)  
 リスト(バッティストーニ編) /  
 『巡礼の年』第2年「イタリア」より ダンテを読んで  
 マラー/交響曲第5番



指揮: アンドレア・バッティストーニ (首席指揮者) ©上野隆文

10月

**20日(木)** 19:00開演 サントリーホール 大ホール  
**21日(金)** 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール  
**23日(日)** 15:00開演 Bunkamura オーチャードホール



指揮: チョン・ミョンフン (名誉音楽監督) ©上野隆文  
 バリトン: セバスティアン・カタナー

指揮: チョン・ミョンフン (名誉音楽監督)  
 ファルスタッフ(バリトン): セバスティアン・カタナー  
 フォード(バリトン): 須藤慎吾  
 フェントン(テノール): 小堀勇介  
 カウス(テノール): 清水徹太郎  
 バルドルフ(テノール): 大槻孝志  
 ビストーラ(バス): 加藤宏隆  
 アリーチェ(ソプラノ): 砂川涼子  
 ナンネッタ(ソプラノ): 三宅理恵  
 クイックリー(メゾ・ソプラノ): 中島郁子  
 メグ(メゾ・ソプラノ): 向野由美子  
 合唱: 新国立劇場合唱団  
 ヴェルディ/歌劇『ファルスタッフ』(演奏会形式)  
 公演時間: 約2時間30分(休憩を含む)

富士山静岡交響楽団(旧:静岡交響楽団)

第113回定期演奏会

**9月17日(土) 14:00**  
 静岡市清水文化会館マリナート  
**9月18日(日) 14:00**  
 アクティシティ浜松



【指揮】山下 一史  
 【ピアノ】児玉 桃  
 ニコライ/歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲  
 ショパン/ピアノ協奏曲第1番 チャイコフスキー/交響曲第5番

第114回定期演奏会 ハイドンシリーズ

**10月15日(土) 14:00**  
 しずぎんホールユーフォニア

【指揮】原田 幸一郎  
 【チェロ】上野 通明  
 ハイドン/交響曲第94番「驚愕」  
 チェロ協奏曲第2番  
 交響曲第96番「奇跡」  
 交響曲第100番「軍隊」



指揮: 原田 幸一郎 ©坂田力丸

第115回定期演奏会

**11月19日(土) 19:00**  
 静岡市清水文化会館マリナート  
**11月20日(日) 14:00**  
 アクティシティ浜松



【指揮】チェンバオ 高関 健 (首席指揮者)  
 【ソプラノ】浜田 理恵 【テノール】松原 隆  
 【バリトン】加藤 宏隆 【合唱】県民参加による合唱団 他  
 ハイドン/オラトリオ「天地創造」

【各公演 前売券】 全席指定/A席 4,500円 B席 3,500円 B席学生 1,500円 ※当日 500円増 (B席学生は除く)

第743回東京定期演奏会

戦争前夜の1935年。日本とイギリスで書かれた「粹」と「誇り」の世界

2022年9月2日(金) 19:00開演 / 3日(土) 14:00開演  
サントリーホール

指揮：山田和樹  
ヴァイオリン：田野倉雅秋  
[日本フィル・コンサートマスター]

貴志康一：ヴァイオリン協奏曲  
ウォルトン：交響曲第1番



チケット好評発売中

S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000  
C¥5,000 P¥4,000 Ys¥1,500

[お問合せ・お申込み] 日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 (平日11時~17時) FAX:03-5378-6161 (24時間) 日本フィルチケット [www.japanphil.or.jp](http://www.japanphil.or.jp)

第744回東京定期演奏会

インキネンによる「ロック」で「雅」なベートーヴェン7番と8番

2022年10月21日(金) 19:00開演 22日(土) 14:00開演  
サントリーホール

指揮：ピエタリ・インキネン  
[首席指揮者]

【ベートーヴェン・ツィクルス Vol.5】  
ベートーヴェン：交響曲第8番  
ベートーヴェン：交響曲第7番



チケット好評発売中

S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000  
C¥5,000 P¥4,000 Ys¥1,500

読売日本交響楽団

問合せ 0570-00-4390

桂冠指揮者カンブルランが3年ぶりに登場!

現代作品で高く評価される成田達輝と邦楽界に新たな風を吹き込む本條秀慈郎と共に一柳作品に全身全霊傾ける

第622回定期演奏会

10月25日(火) 19:00開演 サントリーホール

【指揮】シルヴァン・カンブルラン  
【ヴァイオリン】成田達輝 【三味線】本條秀慈郎

ドビュッシー：遊戯

一柳 慧：ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲 (世界初演)

ドビュッシー：イペリア (管弦楽のための「映像」から)  
ヴァレーズ：アルカナ



[チケット料金] S ¥7,600 A ¥6,600  
B ¥5,600 C ¥4,100

[お問合せ・お申し込み] 読売チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時) <https://yomikyo.or.jp/>

第252回土曜マチネシリーズ

11月26日(土) 14:00開演 東京芸術劇場

第252回日曜マチネシリーズ

11月27日(日) 14:00開演 東京芸術劇場

【指揮】トマーシュ・ネトピル 【ヴァイオリン】岡本誠司  
マルティヌー (ヴォストルシャーク編) :

歌劇「ジュリエッタ」組曲

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」

ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界から」



[チケット料金] S ¥7,600 A ¥5,600 B ¥4,600 C ¥4,100

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 045-226-5107

県民名曲シリーズ第14回

2022年9月17日(土)

14時開演 カルッツかわさき

現田茂夫 (指揮) 鈴木玲奈 (ソプラノ)  
柳澤涼子 (ソプラノ) 井出壮志朗 (バリトン)

ロッシーニ /

歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲

モーツァルト / 歌劇「フィガロの結婚」序曲

モーツァルト / 歌劇「フィガロの結婚」より  
"もう飛ぶまいぞ、この蝶々"

ほか

[チケット料金]

S席 6,000円 A席 4,500円 B席 3,000円



定期演奏会第380回

2022年10月15日(土)

14時開演 神奈川県民ホール

ダニエル・ライスキ (指揮)  
スメタナ / 連作交響詩「わが祖国」より  
第2曲 "モルダウ"

チャイコフスキー /

幻想序曲「ロメオとジュリエット」

ドヴォルザーク /

交響曲第8番ト長調 Op.88



[チケット料金] S席 6,000円 A席 4,500円 B席 3,000円

シニア (70歳以上) は各席種 10%引き ユース (25歳以下) 1,000円  
当日券が発売される公演のみ、当日窓口にて先着販売 (席は選べません)

神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10時~18時) <https://www.kanaphil.or.jp>

中部フィルハーモニー交響楽団

問合せ 0568-43-4333

第82回定期演奏会 NAGOYAシリーズ3

"秋山のベートーヴェン・ツィクルス5"

2022年9月17日(土) 開演15:00

三井住友海上しらかわホール

指揮：秋山和慶

ベートーヴェン：

劇付随音楽「献堂式」序曲

交響曲第2番

交響曲第7番



第83回定期演奏会 KOMAKIシリーズ1

"田中祐子の「プログラムに個性を込めて！」"

2022年10月22日(土) 開演15:00

小牧市市民会館

指揮：田中祐子

ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」序曲

小櫻秀樹：Dirigent bin ich!

\*中部フィルハーモニー交響楽団委嘱作品・世界初演

ブラームス：交響曲第4番



松阪特別演奏会

"大河ドラマ作曲家 渡辺俊幸の世界!"

2022年11月12日(土) 開演15:00

クラギ文化ホール

指揮：渡辺俊幸

R.ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」

メインテーマ

渡辺俊幸：TVアニメ「宇宙兄弟」メドレー

渡辺俊幸：NHK大河ドラマ「利家とまつ」から  
メインテーマ 他



チケットお取扱い・お問合せ 中部フィルハーモニー交響楽団 Tel 0568-43-4333 <https://chubu-phil.com>

Wコンチェルト2022  
金子三勇士 Vol.1

2022年9月2日(金)  
17:45開場/18:45開演  
愛知県芸術劇場コンサートホール  
指揮/小松長生(桂冠指揮者)  
ピアノ/金子三勇士  
リスト:愛の夢、ラカンパネラ [ピアノソロ曲]  
リスト:ピアノ協奏曲第1番  
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番



[指定席] S席5,000円(ペア券7,000円) A席4,000円(ペア券5,600円)  
B席3,000円 C席2,000円 U25席1,000円

超!有名曲シリーズVol.2  
「フランス」

2022年10月13日(木)  
17:45開場/18:45開演  
愛知県芸術劇場コンサートホール  
指揮/松尾葉子(特別客演指揮者)  
ラヴェル:ボレロ  
ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」  
ビゼー:「カルメン」第1・第2組曲より



定期演奏会 三井住友海上しらかわホール

第192回 2022年9月23日(金・祝)  
13:30開場/14:30開演  
指揮/角田鋼亮(常任指揮者)  
ピアノ/阪田知樹  
ラフマニノフ:ヴォカリーズ  
モシュコフスキー:ピアノ協奏曲ホ長調\*  
ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」1945年版



[指定席]プラチナ席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 U25席1,000円

第193回 2022年11月25日(金)  
17:45開場/18:45開演  
指揮/小松長生(桂冠指揮者)  
チェロ/荒井結  
シューマン:交響曲第2番  
チャイコフスキー:  
ロココ風の主題による変奏曲\*  
メンデルスゾーン:交響曲第5番「宗教改革」



[主催・お問い合わせ]セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851 <http://www.caso.jp/>

名古屋フィルハーモニー交響楽団

定期演奏会「シンフォニスト」シリーズ

会場:愛知県芸術劇場コンサートホール  
開演:[金] 18:45 [土] 16:00



第504回〈ドヴォルザーク〉 2022年9月9日(金)/10日(土)

原田慶太楼(指揮) アタック・カルテット(弦楽四重奏)\*  
▼アダムズ:主席は踊る一管弦楽のためのフォックストロット  
▼アダムズ:アプソリュート・ジェストー弦楽四重奏と管弦楽のための\*  
▼ドヴォルザーク:交響曲第8番



第505回〈ショスタコーヴィチ〉 2022年10月7日(金)/8日(土)

ヴァシリー・シナイスキー(指揮) 金川真弓(ヴァイオリン)\*  
▼リムスキー=コルサコフ:歌劇『金鶏』より序奏と婚礼の行列  
▼プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲第2番\*  
▼ショスタコーヴィチ:交響曲第5番



チケット料金 S席:¥6,400 A席:¥5,200 B席:¥4,200 C席:¥3,200 D席:¥2,200 ※各公演25歳以下、65歳以上に割引あり。  
お問い合わせ:名フィル・チケットガイド Tel. 052-339-5666 (9:00~17:30/土日祝休) [www.nagoya-phil.or.jp](http://www.nagoya-phil.or.jp)

オーケストラ・アンサンブル金沢

広上淳一 OEKアーティストック・リーダー就任

岩城宏之メモリアル・コンサート  
〈岩城宏之 生誕90年〉

9月10日(土) 14:00 開演  
石川県立音楽堂コンサートホール  
指揮:広上淳一  
ソプラノ:竹多倫子  
(2022年度岩城宏之音楽賞受賞者)  
尾高惇忠:音の旅(オーケストラ版)  
モーツァルト:交響曲第36番「リッツ」  
ほか  
S席 ¥5,000 A席 ¥4,000 B席 ¥3,000  
スターライト席 ¥1,000



第458回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ

9月18日(日) 14:00 開演 石川県立音楽堂コンサートホール

指揮:広上淳一  
ヴァイオリン:神尾真由子  
コダーイ/ガランタ舞曲  
ピアソラ/  
ブエノスアイレスの四季  
ベートーヴェン/  
交響曲第3番「英雄」  
SS席 ¥7,000  
S席 ¥6,000  
A席 ¥5,000  
B席 ¥3,000  
スターライト席 ¥1,500



■9月21日(水)名古屋定期公演 三井住友海上しらかわホール  
■9月23日(金・祝)大阪定期公演 ザ・シンフォニーホール  
■9月24日(土)東広島公演 東広島芸術文化ホール  
■9月25日(日)堺港公演 堺港市民交流センター

<https://www.oek.jp>

京都フィルハーモニー室内合奏団

京都フィルハーモニー室内合奏団創立50周年記念

※全席指定席、当日券500円増 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

2022年9月18日(日)開演14:00 京都コンサートホール大ホール

特別公演「本能寺ラプソディ」NOBUNAGA'S DREAM

京都に根ざした京フィルしかできない新作発表!  
明智光秀はなぜ信長を殺さなければならなかったのか?まさかの展開へ!  
能楽師片山九郎右衛門と大河ドラマ出演の人気俳優などと  
オーケストラとの夢のコラボレーション!



<入場料(前売:税込)>SS席5,000円、S席4,000円、A席3,000円、  
B席2,000円、ユース席1,000円(25歳以下、要証明書)

2022年10月9日(日)開演 14:00 京都府民ホールアルティ

定期公演 A「大作を室内オーケストラで聴く Vol.5」

指揮:田中祐子 バリトン:大谷圭介.  
エルガー/弦楽セレナード  
マラー/さすらう若人の歌(ファリントン編曲)  
ドビュッシー/海(ファリントン編曲)



<入場料(前売:税込)>S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円  
ユース席1,000円(25歳以下、要証明書)

共に響き合う、京響 City of Kyoto Symphony Orchestra 会場：京都コンサートホール・大ホール

第671回定期演奏会 **発売中!**

ジョン・アクセルロッドは京響と共に「復活」で  
 暗黒の時から真の復活を高らかに歌い上げる  
**2022年9/24(土)、25(日) 両公演とも 14:30 開演**  
 指揮：ジョン・アクセルロッド(京響首席客演指揮者)  
 独唱：テオドラ・ゲオルギュー(ソプラノ)  
 山下 牧子(メゾ・ソプラノ)  
 合唱：京響コーラス  
 マラー：交響曲第2番 短調「復活」



第672回定期演奏会 **8/26(金)から発売!**

ドレスデンから齋藤友香理が登場!京響首席クラリネット奏者・  
 小谷口直子とのウェーバーの協奏曲は必聴です!  
**2022年10/14(金) 19:00開演**  
 指揮：齋藤 友香理 独奏：小谷口 直子(京響首席クラリネット奏者)  
 ワーグナー：歌劇「リエンチ」序曲  
 ウェーバー：クラリネット協奏曲第1番 短調 作品73  
 メンデルスゾーン：交響曲第3番 短調 作品56「スコットランド」



■入場料

S:5,500円 A:5,000円 B:4,000円  
 C:3,000円 P:2,000円

※「第671回定期演奏会」ではP席の販売はありません。

◆「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

S:2,000円 A:1,500円 B:1,000円  
 C:1,000円

※22歳以下のお客様を対象です(開演1時間前から発売/事前予約及び座席指定はできません)。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

■チケットご予約

京都コンサートホール・チケットカウンター  
 TEL(075) 711-3231

24時間オンラインチケット購入  
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

■京都市交響楽団  
 オフィシャル・ホームページ



大阪交響楽団

問合せ 072-226-5522

第258回 定期演奏会

会場：ザ・シンフォニーホール

開演：19:00 [18:00 開場]

2022  
 9.2  
 (金)

「高橋直史 首席客演指揮者就任記念  
 “音楽と文学”」

指揮 / 高橋 直史 (首席客演指揮者 2022年4月就任)  
 ソプラノ / 並河 寿美

- フェルディナント・ヒラー 「デメトリウス」序曲 作品145
- シェーンベルク 6つの歌 作品8
- シューマン 交響曲 第1番 変ロ長調 作品38「春」



高橋 直史  
 撮影：老川良一



並河 寿美

主催 / 公益社団法人 大阪交響楽団  
 特別協賛 / 大和ハウス工業株式会社

S席 ..... 6,000円 オルガン席 ..... 2,000円  
 A席 ..... 5,000円 青少年学生券  
 B席 ..... 3,500円 1回券 1,000円  
 C席 ..... 2,500円 5回券 4,000円

※青少年学生券は楽団のみ取り扱い。当日座席指定。25歳までの学生のみ有効。  
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット・問い合わせ

大阪交響楽団チケットセンター  
 TEL.072-226-5522 (平日10:00~17:00)

大阪フィルハーモニー交響楽団

問合せ 06-6656-4890

第561回定期演奏会 **発売中**

2022年9月22日(木) 午後7時開演  
 23日(金・祝) 午後3時開演

指揮：尾高忠明  
 メゾ・ソプラノ：池田香織  
 ワーグナー／歌劇「リエンツィ」序曲  
 ワーグナー／ヴェーゼンドンク歌曲集  
 ワーグナー／楽劇「神々の黄昏」より  
 (夜明けとジークフリートのラインの旅～  
 葬送行進曲～ブリュンヒルデの自己犠牲)



© Martin Richardson



© 井村 亜人

会場：フェスティバルホール [料金(税込)] A席：6,300円 B席：5,300円 C席：4,200円 BOX席：7,400円 学生席：1,000円

お問合せ：大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

第562回定期演奏会 **9/20(火)発売**

2022年10月21日(金) 午後7時開演  
 22日(土) 午後3時開演

指揮：ミシェル・タバシュニク  
 合唱：大阪フィルハーモニー合唱団(合唱指導：福島章恭)  
 ウェーベルン /  
 管弦楽のための6つの小品  
 ストラヴィンスキー / 詩篇交響曲  
 チャイコフスキー /  
 交響曲 第4番 短調 作品36



© Jean-Baptiste Millet

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

問合せ 06-6336-2001

第61回定期演奏会

会場：ザ・カレッジ・オペラハウス

2022年10月23日(日) 開演14:00

“Concert'Opera”～音楽とお芝居、映像の新しいかたちのコンサート・オペラ

ハイドン／歌劇「無人島」

チケット発売日 2022年8月22日(月) 全席指定席 4,000円

\*高校生以下の方は無料招待いたします。\*未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます。

指揮：牧村邦彦  
 演出：井原広樹  
 コンスタンツァ：大賀真理子  
 シルヴィア：内藤里美  
 ジェルナンド：中川正崇  
 エンリーコ：西村圭市



指揮：牧村邦彦



演出：井原広樹

チケットに関するお問い合わせ先 大阪音楽大学 コンサート・センター 06-6334-2242

第333回定期演奏会 会場：ザ・シンフォニーホール



指揮：  
マクシム・エメリヤニチュエフ

11月10日(木) 19:00 開演 (18:00 開場)

衝撃の才能エメリヤニチュエフによるラフマニノフ辞世の句

指揮：マクシム・エメリヤニチュエフ  
ヴァイオリン：オーギュスタン・デュメイ (関西フィル音楽監督)  
ベートーヴェン：「アテネの廃墟」序曲  
ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調  
ラフマニノフ：交響的舞曲

※出演者、曲目、曲順など、内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

6,500円(S) 5,000円(A) 3,500円(B) 2,500円(C)

1,000円(学生/25歳以下) ※チケット発売日 調整中

協賛：阪急電鉄株式会社 特別協賛：ダイキン工業株式会社



ヴァイオリン：  
オーギュスタン・デュメイ

日本センチュリー交響楽団

問合せ 06-6848-3311

街に響く。心に届く。

会場：ザ・シンフォニーホール

チケット：定期 (A: 6,500円 B: 5,000円 C: 3,500円 D: 1,500円)  
ハイドンマラソン (A: 5,000円 B: 4,000円)

第267回定期演奏会

久石 譲が贈る古典から現代への道

2022年9月24日(土) 14:00開演 13:00開場

指揮：久石 譲

シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 作品38「春」

久石 譲：2 Dances for Orchestra

スメラ：交響曲 第2番



©mar Cruz

第268回定期演奏会

名匠と新星によるオール・プロコフィエフ・プログラム

2022年10月14日(金)19:00開演 18:00開場

指揮：秋山 和慶 ヴァイオリン：金川 真弓

プロコフィエフ：

バレエ音楽「ロメオとジュリエット」組曲 作品64より

ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 作品63

交響曲 第5番 変ロ長調 作品100



©Kaupo Kikkas

ハイドンマラソン HM.28

ハイドン疾風怒濤期の2作品と、同時期のモーツァルト

2022年9月18日(日) 14:00開演 13:00開場

指揮：飯森 範親 ヴァイオリン：漆原 啓子

ハイドン：交響曲 第44番 ホ短調 Hob. I:44「悲しみ」

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第5番

イ長調 K. 219「トルコ風」

ハイドン：交響曲 第57番 ニ長調 Hob. I:57



©山崎 幹

©谷口大輔

お問合せ/センチュリーチケットサービス TEL 06-6848-3311(平日10:00~18:00) <https://www.century-orchestra.jp/ticket/>

兵庫芸術文化センター管弦楽団

問合せ 0798-68-0203

第135回定期演奏会

ブルックナーの精神世界を探求する旅

佐渡裕 ブルックナー第6番

2022年9月16日(金)・17日(土)・18日(日)

指揮：芸術監督/佐渡 裕

ハイドン：交響曲 第90番 ハ長調 Hob.I:90

ブルックナー：交響曲 第6番 イ長調



©飯島 隆

第136回定期演奏会

躍動するリズムと力強い鮮烈なハーモニー

ハチャトゥリアン&ベートーヴェン第7番

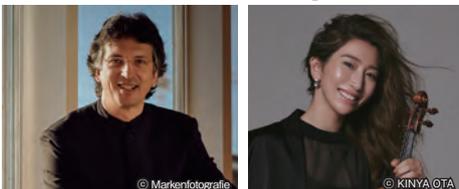
2022年10月7日(金)・8日(土)・9日(日)

指揮/ミハヤエル・ザンデルリンク ヴァイオリン/木嶋真優

シュトラウスII：喜歌劇「こもり」序曲

ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調

ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 op.92



©Marken fotografie

©KINYA OTA

第137回定期演奏会

ロマンあふれる歌、力強いリズムとフレッシュなサウンド

ラフマニノフ&バルトーク

2022年11月18日(金)・19日(土)・20日(日)

指揮/カーチン・ウォン ピアノ/三浦謙司

伊福部昭：舞踊曲「サロメ」より 7つのヴェールの踊り

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 op.30

バルトーク：管弦楽のための協奏曲



©Angie Kremer

©Jeremy Knowles

会場：兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール 各日15時開演

A4,000円/B3,000円/C2,000円/D1,000円(全席指定/税込)

【お問合せ先・チケットご予約】芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255

テレマン室内オーケストラ

問合せ 06-6345-1046

第290回定期演奏会 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに



日程 2022年10月7日(金) 18時30分開演

会場 大阪市中央公会堂中集会室 料金 ¥5,000(当日共)

演目 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲

出演 指揮：延原武春 テレマン室内オーケストラ

第291回定期演奏会

日程 2022年11月9日(水) 18時開演

会場 東京文化会館小ホール 料金 ¥4,000(当日共)

演目 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲

出演 指揮：延原武春 テレマン室内オーケストラ

バッハからベートーヴェンまで  
日本テレマン協会  
since1963



広島交響楽団 定期演奏会 会場：広島文化学園 HBG ホール

ディスカバリーシリーズ 『新世界より』 第2回

**第424回定期演奏会**  
 2022年9/30(金) 18:45 開演  
 指揮/ゲルゲイ・マダラシュ  
 ヴィオラ/今井信子  
 コーイ: ガランタ舞曲  
 バルトーク: ヴィオラ協奏曲 Sz.120  
 コーイ: 夏の夕べ  
 バルトーク: バレエ「中国の不思議な役人」組曲




**第425回定期演奏会**  
 2022年10/14(金) 18:45 開演  
 指揮/クリスティアン・アルミンク  
 ヴァイオリン/アイレン・ブリッチン\*  
 ヴォーン=ウィリアムズ: 揚げひばり\*  
 ストラヴィンスキー: ヴァイオリン協奏曲二長調\*  
 フランツ・シュミット: 交響曲第2番




**第426回定期演奏会**  
 2022年11/19(土) 15:00 開演  
 指揮/シルヴァン・カンブルラン  
 フルート/ワルター・アウアー  
 メリアン: 忘れられし捧げもの  
 尾高尚忠: フルート協奏曲作品30b  
 シェーンベルク:  
 交響詩「ベレアスとメリザンド」 作品5




2022年9/16(金) 18:45 開演  
**JMS アステールプラザ**  
 指揮/下野竜也  
 トランペット/ 亀島克敏  
 ドヴォルジャーク: 序曲「謝肉祭」 作品92  
 ジョン・ウィリアムズ: トランペット協奏曲  
 マルチヌー: 交響曲第2番 H.295




第424回、第425回、第426回共通 チケット料金 S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円 (学生:1,500円) <http://hirokyo.or.jp/>

広島交響楽団 / アマービレフィルハーモニー管弦楽団 / 奈良フィルハーモニー管弦楽団 / 岡山フィルハーモニック管弦楽団 / 瀬戸フィルハーモニー交響楽団

アマービレフィルハーモニー管弦楽団 問合せ 072-648-5874

アマービレフィルハーモニー管弦楽団  
 コンチェルトシリーズ vol.17  
 ~郷愁を誘う旋律~

ベートーヴェン: 序曲「命名祝日」ハ長調 op.115  
 ベートーヴェン: 交響曲第1番ハ長調 op.21  
 ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

2022年10月9日(日) 14:00開演  
 茨木市市民総合センター (クリエイティブセンター) センターホール  
 一般: 3500円 楽団会員: 3000円




奈良フィルハーモニー管弦楽団 問合せ 0743-57-2235

第51回 定期演奏会  
**奈良フィルハーモニー管弦楽団**  
 2022年9/11日  
 奈良県文化会館・国際ホール  
 13:30開演 (13:00開場) 近鉄奈良駅 東へ300m  
 入場料(全席自由)  
 前売り 一般 4,000円 / 高校生以下 2,000円  
 当日 一般 4,500円 / 高校生以下 2,500円

指揮/ 延原武春  
 ピアノ/ 中村太紀 @Ayane Shindo

・ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 Op.73「皇帝」/ベートーヴェン  
 ・交響曲第3番変ホ長調 Op.55「英雄」/ベートーヴェン

奈良フィルハーモニー管弦楽団事務局 TEL 0743-57-2235 奈良県文化情報センター(文化会館内) TEL 0742-22-0200  
 e-mail: naraphil@leto.eonet.ne.jp




岡山フィルハーモニック管弦楽団 問合せ 086-234-7177

**第74回定期演奏会** 秋山和慶至高のブラームス、宮田大が奏でるロマンティックなエルガー

2022年10月9日(日) 15:00 開演  
 岡山シンフォニーホール大ホール

S 5,500円 A 4,400円  
 B 3,300円 Bユース 1,000円  
 \*Bユースは19歳以下および25歳以下の学生対象です。

指揮/ 秋山和慶  
 チェロ/ 宮田大

ブラームス/ 悲劇的序曲  
 エルガー/ チェロ協奏曲  
 ブラームス/ 交響曲第1番

チケットの問合せ: 岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL 086-234-2010 <http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/>




瀬戸フィルハーモニー交響楽団 問合せ 087-822-5540

**第37回定期演奏会** 会場: レクサムホール(県民ホール) 太ホール

2022年9月4日(日) 14:00開演  
 指揮: 大友直人 ヴァイオリン: 佐藤まどか

S席: 4,000円 A席: 3,500円 チケット発売日未定  
 主催: 公益社団法人瀬戸フィルハーモニー交響楽団 共催: 高松市

チャイコフスキー  
 ヴァイオリン協奏曲二長調 作品35  
 ブラームス  
 交響曲第4番 ホ短調 作品98

チケット問合せ  
 瀬戸フィル事務局 087-822-5540




## 第407回定期演奏会



2022年10月7日(金)午後7時開演

10月8日(土)午後3時開演

アクロス福岡シンフォニーホール

指揮 小泉和裕 ソプラノ 安井 陽子 アルト 福原 寿美枝 合唱 九響合唱団 ほか

マーラー/交響曲 第2番 ハ短調「復活」

【チケット料金】S席:5,700円、A席:4,700円、B席:3,600円、  
学生席:1,500円 車椅子席(限定4席):3,600円

ライブ配信

10/7の公演を、クラシック専門ストリーミングサービス  
CURTAIN CALLにてライブ配信いたします。

【ネットチケット(視聴券)料金】¥2,000

※ライブ配信終了後に約2週間のアーカイブの配信を予定しております。



指揮:小泉和裕

チケットお問い合わせ:九響チケットサービス ☎092-823-0101 <http://www.kyukyo.or.jp>

## 長崎OMURA室内合奏団 (NOCE)

問合せ 0957-47-6537

2021~2023シリーズ 室内合奏団の魅力を探る 長崎OMURA室内合奏団 定期演奏会 【チケット料金(全公演共通)】大人3,500円 学生1,000円

NOCE

♪第1回 佐世保公演 8月27日(土)14:00開演

アルカスSASEBO・中ホール

松原勝也(コンサートマスター) 長崎OMURA室内合奏団

エルガー/序奏とアレグロ 作品47

ラヴェル/クーブランの墓

バルトーク/弦楽のためのディヴェルティメント

♪第19回 長崎公演

12月16日(金)19:00開演

長崎市民会館・文化ホール

松原勝也(Vn)、中木健二(Vc)、長崎OMURA室内合奏団

ストラヴィンスキー/プルチネルラ組曲

ブラームス/ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 作品102 ほか

♪第34回 大村公演

12月17日(土)14:00開演

シーハットおおむら・さくらホール



© Mirco Magliocca



松原 勝也

問い合わせ 認定NPO法人長崎OMURA室内合奏団 TEL:0957-47-6537(平日9時~16時) Email:oce02@omurace.or.jp <http://www.omurace.or.jp>MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

夏、ジャズシン

フェスタサマニエザ  
KAWASAKI 2022

7/23(土)~8/11(木・祝)

【出演団体】

東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団、東京都交響楽団、  
新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、  
東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団 他(出演順)

ミュゼ川崎シンフォニーホール チケットのお申込み・お問合せ TEL 044-520-0200 (10:00~18:00)



公演詳細はこちら

主催:川崎市、ミュージアム川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) 後援:川崎市教育委員会、公益社団法人日本オーケストラ連盟、3-WAVE 81.3FM、OTTAVA  
映像・音響制作:YouClassics 配信協力:株式会社ふらあほホールディングス、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社 助成:文化庁文化庁文化芸術振興補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

**指揮者の情報**

**カーチュン・ウォンさん  
日本フィル首席指揮者に**



日本フィルハーモニー交響楽団は現在首席客演指揮者であるカーチュン・ウォンさんが2023年9月から首席指揮者に就任することを発表した。任期は5年。現在首席指揮者であるピエタリ・インキネンさんとの契約は2023年8月で終了する。

ウォンさんは1986年、シンガポール生まれ。2016年のグスタフ・マーラー国際指揮者コンクールでの優勝後、世界各地で活躍。2021/2022シーズンまでニュルンベルク交響楽団の首席指揮者を務める。

**名古屋フィルの第6代音楽監督に  
川瀬賢太郎さんが就任**

名古屋フィルハーモニー交響楽団は現音楽監督の小泉和裕さんの今シーズンで任期満了による退任に伴い、あらたに2023年4月より現在同団正指揮者である川瀬賢太郎さんを第6代音楽監督に就任することを発表した。任期は3年。

川瀬さんは現在名古屋フィルの正指揮者のほか札幌交響楽団正指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢のパーマネント・ゲストコンダクター（9月からはパーマネント・コンダクター）を務めている。

**事務局などの情報**

**群馬交響楽団の事務局長に  
兒島清浩さん**

群馬交響楽団の事務局長松本佳祝さんの退任に伴い、4月より兒島清浩さんが事務局長に就任した。

**東京交響楽団の理事長に岡崎哲也さん**

6月24日より、東京交響楽団の理事長に新たに岡崎哲也さんが就任した。前理事長の澤田秀雄さんは会長に就任した。

**東京都交響楽団の常務理事兼事務局長に佐藤直樹さん**

東京都交響楽団の事務局長内藤和弥さんの退任に伴い、4月より佐藤直樹さんが常務理事兼事務局長に就任した。

**読売日本交響楽団の理事長に  
林 路郎さん**

読売日本交響楽団の理事長福士千恵子さんの退任に伴い、6月より林 路郎さんが理事長に就任した。

**名古屋フィルハーモニー交響楽団  
の専務理事に磯村 仁さん**

名古屋フィルハーモニー交響楽団の専務理事松本一彦さんの退任に伴い、6月より磯村仁さんが専務理事に就任した。

**オーケストラ・アンサンブル金沢の  
ゼネラルマネージャーに床坊 剛さん**

オーケストラ・アンサンブル金沢のゼネラルマネージャーの北村善哉さんの退任に伴い、4月より床坊 剛さんがゼネラルマネージャーに就任した。

**兵庫芸術文化センター管弦楽団の  
楽団部長に木山浩司さん**

兵庫芸術文化センター管弦楽団の楽団部長、竹林潤治さんの退任に伴い、4月より木山浩司さんが楽団部長に就任した。

**訃報**

**名古屋フィルハーモニー交響楽団  
のコントラバス奏者の田中伸幸さん**

名古屋フィルハーモニー交響楽団のコントラバス奏者の田中伸幸さんが4月20日に亡くなった。享年65。

**読売日本交響楽団チェロ奏者の  
松葉春樹さん**

読売日本交響楽団チェロ奏者の松葉春樹さんが6月10日に亡くなった。享年58。

**広島交響楽団の  
コントラバス奏者の井上大貴さん**

広島交響楽団のコントラバス奏者の井上大貴さんが6月4日に亡くなった。享年32。

**藝大フィルハーモニア管弦楽団の  
ファゴット奏者の依田晃宣さん**

藝大フィルハーモニア管弦楽団のファゴット奏者の依田晃宣さんが6月15日に亡くなった。享年39。

**ピアニストの野島 稔さん**

ピアニストの野島 稔さんが5月9日亡くなった。享年76。10歳でNHK 交響楽団と共演。1969年には第3回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで第2位。以降、現代日本の作品を多く紹介するとともに多くの日本のオーケストラと共演を重ねた。東京音楽大学学長。

**【賛助会員】**

**●法人会員**

- オリックスグループ
- NPO 音楽は平和を運ぶ
- キッコマン株式会社
- コクヨ株式会社
- 株式会社 資生堂
- 公益財団法人日本製鉄文化財団
- 株式会社日本旅行
- 一般財団法人ヤマハ音楽振興会
- ライオン株式会社
- 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

(五十音順)

\*連盟の活動をご理解いただき支援して下さる法人あるいは個人の方へ賛助会員へのご入会をお願いします。

**【加盟38 団体】**

**〈正会員〉**

- 札幌交響楽団
- 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- 山形交響楽団
- 群馬交響楽団
- NHK交響楽団
- 新日本フィルハーモニー交響楽団
- 東京交響楽団
- 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
- 東京都交響楽団
- パシフィックフィルハーモニア東京
- 東京フィルハーモニー交響楽団
- 日本フィルハーモニー交響楽団
- 読売日本交響楽団
- 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- オーケストラ・アンサンブル金沢
- セントラル愛知交響楽団
- 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 京都市交響楽団
- 大阪交響楽団
- 大阪フィルハーモニー交響楽団
- 関西フィルハーモニー管弦楽団
- 日本センチュリー交響楽団
- 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- 広島交響楽団
- 九州交響楽団

**〈準会員〉**

- 千葉交響楽団
- 藝大フィルハーモニア管弦楽団
- 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
- 富士山静岡交響楽団
- 中部フィルハーモニー交響楽団
- 京都フィルハーモニー室内合奏団
- アマビレフィルハーモニー管弦楽団
- ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
- テレマン室内オーケストラ
- 奈良フィルハーモニー管弦楽団
- 岡山フィルハーモニック管弦楽団
- 瀬戸フィルハーモニー交響楽団
- 長崎 OMURA 室内合奏団



本誌は、環境に配慮して FSC® 森林認証紙 (ECFパルプ) を使用しています。



日本オーケストラ連盟ニュース第108号 2022年7月29日発行  
**発行所●公益社団法人 日本オーケストラ連盟**  
 編集・発行人 桑原 浩 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル棟7F  
 Tel:03-5610-7275 http://www.orchestra.or.jp/  
 印刷●錦明印刷株式会社 制作●音楽編集者倶楽部「カノン」/林健子